



けやりん通信 Vol.5



近年、空き部屋を利用した犯罪行為が多発しています。今回のけやりん通信では通常のセキュリティー効果に加えて今注目されている防犯対策についてご紹介します

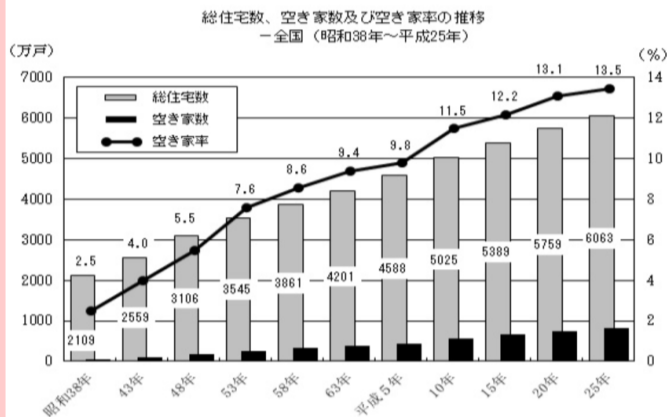
空室犯罪事例

空室物件で、荷物を受け取る手口で行われる犯行が近年多発

その荷物とは・・・高齢者からだまし取った現金や、インターネット販売等で不正に購入した商品。不動産会社が内見をするように装い、配達時間に合わせ室内で受け取りすぐに部屋から出ていくという手口の犯行です。

空室は増加している！

空室は全国的に増えており、その52.4%が賃貸用の住宅です。賃貸経営者にとって、空き家犯罪は、物件価値の低下を招く重要な要因となる為、資産を守る側面としてもご所有物件の防犯について考える必要があります。



出典：総務省統計局 住宅・土地統計調査結果 (平成25年)

犯行に使われやすい物件の特徴

- ・ **人目につきにくい物件**
例) 死角が多い
清掃員や、管理会社の出入りが少ない
- ・ **外付けの鍵ボックス** (入室しやすい)
- ・ **空室が多い** (不動産会社を装って入りやすい)
- ・ **物件が汚れている**
(入居者が通報しなさそうに思われる)
- ・ **宅配ボックスがある**
(荷物受けとる為に利用される可能性有り)

対策方法

- ・ **清掃を行う**
(綺麗な物件は近寄りやすい)
- ・ **スマートロック利用**
(合鍵を作られない
インターネットで鍵を制御可能)
- ・ **防犯カメラ設置**
(顔が見られる可能性は避ける)
- ・ **人の出入りを増やす**
(管理会社・オーナー・入居者でも
出入りが多い物件は狙われにくい)

Point

設備等の充実により、未然に犯罪を防ぐ事が重要です。また、相続により取得した遠方の戸建てについては改めて売却を検討することも対策の1つです。

